

県立広島大学研究開発助成事業

19年度の新規助成対象研究課題を決定

地域活性化に向けて4件を採択

市は平成17年度から、県立広島大学の研究者が行う地域資源を活用した農林業振興や環境保全の研究に対し助成する「県立広島大学研究開発助成事業」を実施しています。

今年度の新規助成対象研究課題として、表1のとおり4件の課題を採択しました。

この事業は、大学の研究者が所有するシーズ(種)を活用した研究成果を商品化・事業化に結び付け、新たな産業創出による地域活性化を図ることを目的としています。

5月に研究課題を募集したところ5件の提案があり、審査を経て表の4件の研究課題を助成対象として決定

しました。

今後は、研究担当者やしょうばら産学官連携推進機構と連携しながら、研究成果を事業化・商品化へ結び付け、地域活性化や新産業創出が実現できるように取り組みを進めていきます。

また、平成18年度に採択した3つの研究開発課題は表2のとおりです。このうち、2年間の研究期間を設けた①と②については現在も研究が進められており、単年度で研究が終了した③については、研究成果の活用について協議を進めています。



表1 平成19年度助成対象研究課題

研究課題の内容	研究者氏名
①マツタケ山再生	相沢 慎一 教授
②庄原産農産物を用いた高機能性食品の加工ならびに製品化	武藤 徳男 教授
③庄原市における放牧およびドングリ飼育による養豚の確立	村田 和賀代 准教授
④伝統食品の機能性評価と付加価値製造法の開発	吉野 智之 講師

表2 平成18年度助成対象研究課題

研究課題の内容	研究者氏名
①機能性食品としてのユリの再評価と食用ユリの系統選抜・育種	龍治 英 教授
②庄原市全域の農村観光資源に関するGIS型データベースの製作	前川 俊清 准教授
③庄原市森林の持続可能な経営確立に向けた制度的・技術的課題及びその適用方法の解明	宮本 誠 教授

★研究成果報告会を開催します★

平成18年度末で研究開発が終了した課題の成果を、多くの市民や事業者の皆さんに知っていただくため、研究成果報告会を開催します。

日程や場所については決まり次第、行政文書などでお伝えします。多くのご参加をお待ちしています。

企画課政策企画係
☎0824-73-1114